

阿曾浦漁場環境調査

観測日時 令和4年6月21日 火曜日 9時

天候 雨
観測 南島種苗センター

観測地点 (水深)	水深 (m)	水温 (°C)	溶存酸素 (mg)	比重 (‰)	プランクトン (細胞/ml)		
1. 岸信夫 さん前 (15.9)	1	24.5	6.4		珪	0 セラチウム フルカ	20
	3	23.7	5.5	32	珪	210 セラチウム フルカ	10
	5	23.3	5.8		珪	0 セラチウム フルカ	20
2. 大江 (12.9)	1	24.9	6.1		珪	0 セラチウム フルカ	10
	3	23.9	6.2	33	珪	0 セラチウム フルカ	10
	5	23.1	5.8		珪	0	
3. 道方 (10.9)	1	24.5	5.9		珪	0 セラチウム フルカ	30
	3	23.3	5.9	33	珪	0 セラチウム フルカ	20
	5	22.7	5.1		珪	0	
4. 毛無 (18.1)	1	23.9	6.2		珪	0	
	3	23.1	6.2	32	珪	10	
	5	22.9	5.9		珪	0	
5. この浦 (中央) (13.6)	1	23.7	6.9		珪	60	
	3	23.3	6.4	33	珪	100	
	5	23.2	6.5		珪	1230	
6. この浦 (奥) (9.9)	1	25.0	5.5		珪	0	
	3	24.2	6.2	34	珪	250	
	5	23.8	6.4		珪	1310	
7. テラマル (16.3)	1	22.4	6.3		珪	0	カレニア ミキモイ 10
	3	22.2	6.2	34	珪	0	
	5	22.0	6.0		珪	0	
8. カマバ (12.0)	1	23.0	6.1		珪	0	
	3	22.6	6.5	33	珪	0	
	5	22.1	6.1		珪	0	

備考 「珪」は珪藻類です。(二枚貝の餌等になります。)

今回検出された珪藻類の種類については「キートセロス属」と「シュード ニッチア」が多数でした。

「セラチウム フルカ」と「カレニア ミキモイ」が若干見受けられました。

「セラチウム フルカ」による大きな被害は報告されていません。

「カレニア ミキモイ」は、数千個を超えると魚介類への影響がありへい死を起こす危険性があります。

※比重(塩分濃度)は塩分濃度計(ATAGO MASTER-S/Mill α)で測定し、値は‰(パーミル)標記とさせていただきます。

南伊勢町沿岸域の海水の塩分濃度は33‰前後が基準となります。

観測は週に1回の予定で行い、臨時観測には対応しますのでご連絡ください。

観測 南島種苗セン

ター